



美味しいメニューの仕上げは、  
ここからの眺めです。

ウォーキング・カフェの立ち上げメンバーの面接で、「スポーツは好きですか?」「はい、大好きです!」と答えて合格。繊細なケーキや焼き菓子を創作する藤平実喜さんは、小学校から高校までバレーボールに打ち込んだスポーツウーマンだ。

子どもの頃からお菓子作りが大好き。高校卒業後は大阪の製菓学校で学び、神戸でパティシエとしての腕を磨いた。

カフェでは、桜いちご大福、梨ジュースなど、地元のフルーツを使った旬のオリジナルスイーツが評判だ。

「お菓子で湯梨浜の四季を味わってもらいたい」と考案するケーキを目当てに、男性のおひとりさまもやって来る。

店のデッキの先は東郷湖。抜群のロケーションに魅かれて、全国からウォーキング愛好者が集まる「Café i ppo」では、栄養士でもあるシェフと、食べて元気になるメニューを考案。提供している。

各地のウォーキング大会で知り合った人たちが、ここで再会。世代を超えて楽しそうに語らう健やかな笑顔に触発されて、公認指導員の資格も取った。

「夕暮れ時、デッキからの風景は涙が出るほど美しい。それをもっともっとたくさんの人に知ってもらいたい。人の輪を広げる i ppo になれたら!」

湯梨浜の旬をやさしいケーキに仕上げ、スイートな会話が弾む場所を守っていく。

パティシエ  
藤平実喜  
全日本ノルディックウォーク連盟公認指導員

ゆ  
う  
ゆ  
う、

ゆ  
り

は  
ま

